大造じいさんとガン

作品を自分なりにとらえ，朗読しよう（８時間）

◎　自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすることができる。

○　優れた叙述について，自分の考えをまとめることができる。

◇大造じいさんとガン

椋鳩十 作
金子恵 絵

(P.102～103)

前書き（まえがき）

○　だれが出てきたでしょう。（で）

・　知り合い（しあ）のかりゅうど

・　わたし

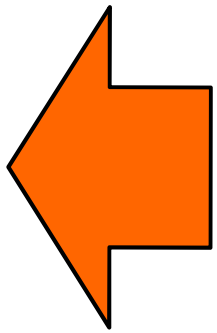
わたし

出てきた文章は、どこだろう。

知り合いのかりゅうどにさそわれて、わたしは、イノシシがりに出かけました。

わたしとは、だれだろう。

わたしは、その折の話を土台として、この物語を書いてみました。



わたしは、この物語を書いてみました。＝筆者

(P.102～103)

前書き（まえが）

○ だれが出てきたでしょう。（で）

・ 知り合い（し あ）のかりゅうど

・ わたし

・ イノシシがりの人々（ひと びと）

・ 大造じいさん（だいぞう）

・　大造じいさん

大造じいさんとは、どんな人だろう。

じいさんは、七十二さいだというのに、こしひとつ曲がっていない、元気な老かりゅうどでした。そして、かりゅうどのだれもがそうであるように、なかなか話し上手の人でした。血管のふくれたがんじょうな手を、いろりのたき火にかざしながら、それからそれと、愉快なかりの話をしてくれました。

大造じいさんは、（　　）さいで、（　　）の仕事をしています。（　　）が上手で、（　　）の話をしてくれました。

いろり

農家(のうか)などで、ゆかを四角(しかく)にきって、火(ひ)をたくようにしたところ。暖(だん)ぼうや炊事(すいじ)に使(つか)う。

大造じいさんとガン　前書き

名前

・大造じいさんとは、どんな人でしょう。

大造じいさんは、（　　）さいで、（　　）の仕事をしています。（　　）が上手で、（　　）の話をしてくれました。

・国語辞典（こくごじてん）で意味（いみ）を調（しら）べよう。

ふもと		
さかん		
すがすがしい		

大造じいさんとガン　前書き

名前

・　大造じいさんとは、どんな人でしょう。

大造じいさんは、（　　）さいで、（　　）の仕事をしています。（　　）が上手で、（　　）の話をしてくれました。

・　国語辞典（こくごじてん）で意味（いみ）を調（しら）べよう。

ふもと	さかん	すがすがしい